


**鎌倉合唱連盟機関誌
第36号**

発行日:2020年10月10日

編集・発行:鎌倉合唱連盟

http://kcl2011.sakura.ne.jp/

加盟団体数: 46団体

会員数: 1,189名

(2020年3月末現在)

新型ウイルス流行の中で

COVID - 19 中での合唱の取り組み

理事長 佐藤 ゆり

今年が世界中が予期せぬ事態に襲われ、鎌倉合唱連盟も定期演奏会、市民合唱祭の予定も立たぬまま秋を迎えました。どの国の対応にも正解はなく、評価が定まるのは何年も後になる事でしょう。そのような中で私が印象的だったのは、ドイツ文化相の「音楽は平時だけのものではない。生命維持に必要不可欠」という言葉と、オーケストラやフリーランサーに対する支援金の即時拠出です。同国をはじめヨーロッパの国々では、かつて音楽は命をつなぐための糧であり、また精神的な闘争の手段でもありました。そのバックグラウンドを持つ国と、クラシック音楽が導入されて140年程度の日本は比べるべくもありませんが、合唱を愛してきた人々は、仲間と歌を共有できないこの日常に、空虚感がつのっていないのでしょうか。リモートで出来る作業もありますが、音楽は同じ空気の振動の中に身を置いてこそ成り立つものです。

英国のジョンソン首相は、「今回拠出する資金により、未来の世代のために文化・芸術部門が担保される。」と言っています。ただでさえ若い人の合唱離れが進んでいる日本で、この足踏み状態は未来にどのような影響を与えるのでしょうか。

鎌倉合唱連盟は各団の構成年齢や規模など其々に大きな違いがあるので、どのような判断で合唱練習を再開するのが正解なのかは、やってみた結果でしかわかりません。でも未来の合唱界のためにも、智慧を出し合い、十分に感染予防に留意してゆっくりと踏み出してみようではありませんか。ハミングでカデンツを合わせるだけでもかつて味わった喜びが蘇るはずですよ。

練習への参加に関する考え方は団の中でも一様でないと思います。日頃の体調管理は言うまでもない事ですが、それでも感染した場合、周りがその人を責めたり、本人が団を責めたりする事は、最も避けたい事です。そのためには同意書を取り交わすのも良いかもしれません。コロナが終息した時に、気持ちよく、楽しく歌いたいものです。

全日本合唱連盟 合唱活動に於ける「新型コロナウイルス 感染症防止」のガイドライン(要約)

全日本合唱連盟は、新型コロナウイルス感染が拡大した6月に合唱活動に於けるガイドラインを作成し、9月にその改訂版が出されました。

ガイドラインでは施設の利用時には、換気施設の整った場所で、収容定員の50%以下を目安に利用すること。

当日の練習前後には3密を避け、指揮者・団員間に適切な距離を確保し、

- ・出席者の名簿の作成・保管
- ・体調の確認(検温等)
- ・マスクの着用
- ・衛生管理(手洗い消毒)
- ・休憩時の会話は必要最小限とする

等の感染防止対策を施すことが望ましいと記されています。

2020年度 鎌倉合唱連盟 理事異動

本年1月29日(水)、鎌倉芸術館第一会議室にて開催された2020年度の総会において、理事・顧問・監事の交代が承認されました。

新任理事:

松岡 幹枝 (Anemone Coronaria) えっせんす編集担当
片桐 恵子 (アンサンブル クオーレ) HP維持担当

新任監事(会計監査):

佐野 恵美 (クール百音)
中野 香織 (やまさき女声合唱団)

退任理事・顧問: 児玉 昭義理事 (ムジカおさらぎ)

澤 百合子顧問 (長谷コーラス)

退任監事: 松岡 幹枝 (Anemone Coronaria)

片桐 恵子 (アンサンブル クオーレ)

澤事務局長 ご逝去

本年2月、長年、歴代の理事長と共に、鎌倉合唱連盟の屋台骨として支えてくださった、澤事務局長が逝去されました。ご子息、また澤さんと共に合唱連盟で活動された方々からメッセージが寄せられましたので、謹んでご紹介させていただきます。

合唱連盟の皆様へ

澤 琢哉（澤さんご子息）

鎌倉合唱連盟にお世話になって、どれ程の月日が経ったのか、私共には分かりません。常に一人で何事も黙々とやっておりました。愚痴も文句も言わず楽し気にやっておりました。余程、性に合っていたものと思います。

顧みますと子供（小学5、6年）の頃も合唱の先生に通って居りました。その時もアルトを歌っていました。大人になってからは幼稚園つながりで、今迄に至っていました。

連盟の中で皆様のお助けとご指導をいただきながら過ごした年月は、とても楽しい事であったろうと思います。鎌倉市民合唱祭が復活した時には、皆様にお逢いしたく母も何うかもしれません。宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。



澤 百合子事務局長を偲んで

名誉理事長 児島 百代

「澤 百合子様」3年前、私が85歳を期して鎌倉合唱連盟理事長を退任させていただくまで、大変お世話になりました。鎌倉合唱連盟を発足された初代理事長の蓑田先生からお引き受けしたものの、会員1,500名という大きな団体。しかも私は北鎌倉女子学園音楽教諭を退任したばかりでした。その時援けて下さったのが澤百合子理事でした。月1回の理事会の時も、係りの配備、私達役員の控室の準備も澤理事のお陰ですべて綿密に整えられていました。

いふなれば澤理事は「鎌倉合唱連盟の背骨」と表現してもいいような重要な存在だったのです。3年前に理事長を退任させていただいた私ですが、お世話になった私としては故澤理事に心から御礼の気持ちを届けたいと思います。

澤 百合子様 数十年の間、鎌倉合唱連盟で、いつも温かく導いて下さりまして、本当にありがとうございました。これからも天国から鎌倉合唱連盟を見守って下さいませ。

澤 百合子さんを偲ぶ

前合唱連盟副理事長 丸山 孝之

私が理事に就任したのは2001年ですが、澤さんはその時既に30年以上に亘って事務局の仕事を行なっておられました。仕事に不慣れな私に親切にご指導下さったことが忘れられません。一番驚いたのは連盟の年中行事の全ての手順を知り尽くして確実に実施されていたことです。正に合唱連盟の生き字引ともいふべき方でした。2005年には全ての行事内容とフォーマット作成手順をマニュアル化し新任の理事が即日に仕事ができるような体制を整えましたが、これも澤さんのお力に負うところ大でした。私が広報を担当しておりました関係で、広報誌の発行にも長くご尽力を頂きました。連盟創立50周年記念の広報誌は今も記憶に鮮明です。

茶道の先生でもあった澤さんは、常に落ち着いた静かな態度でどなたにも優しく接しておられ、理事の皆さんはもとより、連盟所属合唱団の方々からも信頼を寄せられておりました。これからも連盟の為にお力添えを頂けるものと思っておりましたので、まことに残念です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合唱連盟理事会はじめのころ ～澤 百合子さんを偲んで～

混声合唱団ムジカおさらぎ 国富 素子

1983年頃、市役所の会議室で初代合唱連盟理事長、故蓑田良子先生の先導により最初の理事の選出が行われました。私は辞退したのですが、隣の席におられた澤さんより“ご一緒にいたしましょうよ”と穏やかに誘われてつい受けてしまいました。それまでは蓑田先生がほぼ一人で連盟の仕事をしておられたようです。

パソコンも携帯電話もない時代、理事1期生は何もかも初めてで、合唱祭のお知らせから名簿の整理、規約作りなど活発に話し合い、時には意見のぶつかることもありましたが、いつの時も澤さんは中立の立場で“そうでしょうか”と美しい言葉でその場を和ませてくださいました。事務局の澤さんがご主人の転勤で関西に行っておられた2年弱の間、私は事務局を任されましたが、何とか無事に責任を果たせて安堵したことを思い出します。古い公民館が現在の警察署の場所に在った頃、演奏会当日は朝早くから冷たい水場で控室のお茶の準備をしながら、澤さんと当日の確認など話し合ったことも懐かしい思い出です。

澤 百合子さんを偲んで

長谷コーラス 門田 伊久枝

澤さんの訃報に心よりお悔やみ申し上げます。

昨年の6月に体調を崩されて入院なさり、その後何度か入院を繰り返されたと聞きます。前々から足腰が少し弱ってはいらっしゃいましたが、お年を感じさせない、お元気な澤さんの印象しかなく、まだまだご活躍されると信じていました。思い当たりますが、入院中の澤さんから電話がありました事、弱々しいお声でしたが、少しお話されました。只、それが亡くなられる6日前の事と後で分かって、未だに妙な不思議な気持ちでおります。

団員、一人一人をよく気づかい、お世話頂きましたこと、心より感謝致しております。淋しくなりましたが、澤さん亡き後、皆で頑張ります。

コロナ禍における各団の練習状況

新型コロナウイルス感染防止で、各団の活動が停止になっている状況ですが、そろそろ、活動を開始している団も出ています。今回は連盟理事・監事が関係する団体の練習状況をお伝えします。

Anemone Coronaria

私たちは少人数の団ですので、この期間もほとんど中断なく練習を続けることができました。コロナ禍に対する個々の考えや、ご家庭の事情等でお休みの方もいらっしゃいましたが、現在は全員揃い、マスク着用の上、週1回練習をしています。年に何回かのステージでの発表や、施設への訪問など、外での活動はストップしていますが、今できることを精一杯やっていきたいと思っています。(松岡 幹枝)

アンサンブル クオーレ

アンサンブル クオーレでは、団員数が少ない為、鎌倉芸術館練習室1及び、深沢学習センター集会室1等を使用して、8月より毎週レッスンを開始しました。各自、東京混声合唱団で使用している様な、鼻から口元、あご辺りまで垂らす布製のマスクを参考に作って、活用しています。歌うに当たって、窮屈ではない為、とても快適にコーラス出来る様に思います。換気にも注意を払い、途中で必ず休みを入れ、窓、ドア等を開けて、空気の入替えをしています。(片桐 恵子)

クール・ドゥセール

3~10月迄休会でしたが、5~6月は合唱曲の音源と伴奏を先生が動画配信してくださったので自主練習でした。7月に先生からのご提案でスマホのグループラインを作りました。先生と団員のコミュニケーションがとれ、愛唱歌の動画配信も毎週あり、音楽を楽しみました。これから練習再開ができるように話し合いをする予定です。(酒井 雅江)

鎌倉市民混声合唱団

練習は6月末から月2回のペースで再開しています。始めは参加人数を10人程度に抑え、練習場に来られない人のためにWeb会議「Zoom」の配信を併用しました。マスクをして歌う不自由な形ですが、先生の意欲的な指導に助けられています。会場は民間施設を借りていましたが、10月から鎌倉生涯学習センターが再開し安定確保の見込みが立ったので、当分はここで月2回の練習として、状況を見て回数を増やしていく予定です。(小倉 裕)

北鎌倉女声合唱団

2月の最終練習日より休会。練習室の貸出が再開されましたが、自粛解除にもかかわらず、集団を扱う仕事の従事者が多い為、我慢。ようやく10/23から月1、2回のペースで練習再開。マスク装備で、入室時の手指消毒・検温・距離と並びを考え2mのソーシャルディスタンス、退室時の備品消毒と、手順を考えております。また、学校の授業では『合唱』や『新曲視唱』等の対面を伴う歌唱は、まだ行っておりません。(太田 彌生)

クール百音

クール百音は9月末までは練習を中止しております。9月下旬に行いましたミーティングでは、今後の活動や練習方法などについて話し合いました。10月から練習を再開しますが、当面は無理をせず月1回程度のペースで、ソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用の上、換気を行いつつ練習いたします。

(佐野 絵美)

西鎌倉混声コーラス

8月から練習を開始しました。マスクを着用し8月は3グループ、9月は2グループに分けて練習。10月からは通常練習にしました。感染防止チェックリストを作成し、毎回、検温の記録、出席者名簿の作成、清掃チェックリストによる清掃、定期的な換気を行っています。

よくわからない感染症ですが、注意深く、しかし怯えすぎないように、感染のリスクを感じながら、慎重に練習を進めていきたいと思っております。(古賀 知)

女声合唱団かまくらの風

女声合唱かまくらの風は、7月から大体三分の一の人数にして再開しました。窓が四方にある練習会場ですので窓は開け、マスクは必ず、フェイスシールドも半数の方はつけて、先ずパート練習、次に各パート三分の一ずつの人数でのアンサンブルにして練習しています。今は四声の曲を練習するために二分の一の人数で練習していますが、そろそろ全員で練習出来ないものかと模索しているところです。(新井 澄子)

フラウエンコア・ヴォンネ

私たちはやっと9月4日に玉縄公民館第4集会室に集まり6ヶ月ぶりに再会出来ました。残念ながら、諸事情により、退団する団員も数人いました。指揮者との話し合いを踏まえて、原則として月2回、十分な距離と換気出来る会場でのみ練習を行うこととしました。マスク着用と検温、消毒は必須です。ハミングを中心として母音の発声を練習しながら、歌うことを続けていこうと思っています。(後藤 公子)

編集後記

今号は長年、事務局長をお務め下さった「澤百合子 前事務局長」のご逝去を悼み、そのご功績に敬意と感謝の念をお伝えする事といたしました。えっせんす編集の際には柔らかいお優しい表情で時折鋭い、しかし暖かいご助言をいただいたものです。ご冥福をお祈りします。

えっせんす担当 阿部栄子

やまさき女声合唱団

コロナでしばらく活動を休止したのち数回のオンライン練習をズームを使って行いました。その後、人数を3分割、2分割して会場の人数制限に合わせて練習を行い、深沢行政センターのホールや芸術館のリハーサル室が使えるときは全員での練習を行っています。練習中は個々の距離を取り、マスク着用・しばしばの換気などの注意をしています。現在まだ自粛して不参加のメンバーも数名います。(中野 香織)

アンサンブル海の星

有志 8月1回 9月2回 10月から毎週

女声合唱団ミモザの会

有志 9月1回 (2部に分ける)

10月から隔週 (全員一緒)

男声合唱団牧神

有志 9月2回 (2部に分ける)

10月から毎週 (全員一緒)

ムジコマーニストナート

10月から毎週

ジュニア合唱団なぎさ道

9月1回 10月から毎週

混声合唱団ムジカおさらぎ

有志 10月から隔週を目安に月2回

歌唱用マスクの作り方

(佐藤理事長からのご推奨マスク)

簡単にできる歌唱用マスク。東京混声合唱団が売り出している製品と機能は変わりません。

用意する物 ①ハンカチ1枚。1辺35cm程度。

②マスク用ゴム

③針と糸

作り方

①ハンカチ上部を10cmぐらい折る

②折った角を3cmぐらい三角に折って糸で止める

③上部中央を1cmぐらい空けて、両側に1.5cmぐらいの箱ひだをとり糸で止める

④三角部分にゴムを通す



赤丸部拡大